

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード		080100	TEL	2998-9385				
事業コード	所沢地区病院群輪番制病院運営事業			担当部課						
080110				保健医療課						
開始年度		昭和 55 年度	→	終了年度		平成 年度				
グループ		地域医療推進担当グループ								
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	埼玉県地域保健医療計画			所沢地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱					
	関連・類似事業	在宅当番医制実施事業、小児科救急医療病院群輪番制事業								
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	保健・医療	基本方針	救急医療の充実を図ります			
事業開始の背景	休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するために昭和55年より実施。									
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	夜間及び休日・祝日の二次救急患者(入院手術を必要とする重症患者)の医療体制を確保するため。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 24 年度	649,382	人			
	所沢市、狭山市、入間市の市民				平成 25 年度	648,334	人			
事業の具体的な内容及び実施方法										
所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における14か所の二次救急医療施設の病院群輪番制方式による「休日・夜間診療」の実施に対し補助金を交付する。補助金額は、3市の人口割、利用者割、均等割によって按分し、狭山市、入間市がそれぞれの負担金を所沢市に納付する。補助金交付にあたっては、所沢市が一括して所沢市医師会(3市医師会の窓口)に交付する。										
【受入医療機関】 ①西埼玉中央病院、②所沢市市民医療センター、③所沢中央病院、④所沢第一病院、⑤圏央所沢病院、⑥所沢明生病院、⑦埼玉西協同病院、⑧狭山中央病院、⑨狭山厚生病院、⑩至聖病院、⑪埼玉石心会病院、⑫入間川病院、⑬豊岡第一病院、⑭原田病院										
【診療時間】 夜間…午後6時～翌朝8時。休日…午前8時～午後6時。										
④経費	＜会計種別＞		一般会計		平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)			
	当初予算				31,045	30,974	31,045			
	決算(見込み含む)				31,045	30,974				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について 平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費		0.29 人	2,570	0.12 人	1,067				
	事業費合計				33,615	32,041				
	財源内訳		一般財源		16,703	15,052	14,025			
		国・県支出金		0	0	0				
		その他(狭山市、入間市からの負担金)		16,912	16,989	17,020				
⑤実績	項目名		項目説明		単位	H 24	H 25	H26見込み	将来目標	
	活動実績		診療計画日数		日	437	436	437		
			診療実施日数		日	437	436	437		
⑥成果	項目名		項目説明		単位	H 24	H 25	H26目標値	将来目標	
	成果指標		診療実施率		日	目標値 437	436	437		
			実績 437			436		<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図る		
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかを チェックしてください		
⑦改善点	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)									
	3市間での情報交換を行い、小児科救急医療病院群輪番制との負担金算定の整合等について課題を共有するとともに、今後も二次救急医療体制を確保するため相互に協力していくことを確認した。									
⑧評価	評価		事業実施方法(複数選択可)		理由					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		二次救急医療の確保は、安心して暮らしていくためには欠かせないものであり、引き続き事業を継続していく必要がある。					
	方今向後の		次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		理由 今後も各医療機関の協力のもと、当事業を円滑に運営していくためには、継続して支援していく必要がある。			
⑨環境影響	今年度の状況と今後の方向性									
	各医療機関において、円滑に事業が実施されているところである。また、救急医療体制の整備を通して市民が安心して暮らせる環境を確保するため、今後も本事業をはじめ、在宅当番医制事業、小児科救急医療病院群輪番制事業等を通じて休日・夜間診療体制の充実を図っていく。									
評価日		H26.7.31		評価者職氏名		保健医療課長 須田 浩美				
⑨環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動		有害影響その他はマニュアル参照		規制を受ける環境法令等	無
									緊急事態	無